

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	予 算 特 別 委 員 会 産 業 建 設 分 科 会		会 議 場 所 第 2 委 員 会 室 担 当 職 員 佐 藤
日 時	令 和 3 年 3 月 1 1 日 ( 木 曜 日 )	開 議	午 前 1 0 時 0 0 分
		閉 議	午 後 3 時 5 2 分
出 席 委 員	◎ 赤 坂、○ 奥 野、田 中、小 川、藤 本、木 曾、菱 田		
出 席 理 事 者	【まちづくり推進部】並河部長、関事業担当部長 [都市計画課]関口課長、山下景観係長 [都市整備課]山内課長、石田区画整理担当課長 [まちづくり交通課]伊豆田課長 [桂川・道路整備課]信部課長 [土木管理課]澤田課長 [建築住宅課]内藤課長 【上下水道部】阿久根部長 [総務・経営課]西田課長、人見副課長、服部下水道経営係長 [お客様サービス課]柴田課長、湊副課長 [水道課]清水課長 [下水道課]川勝課長、清水年谷浄化センター所長		
出 席 事 務 局	山内事務局長、佐藤主任		
傍 聴 者	市 民 0 名	報 道 関 係 者 0 名	議 員 0 名

## 会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

### 1 開 議

(赤坂分科会委員長あいさつ)

### 2 事 務 局 日 程 説 明

(事務局説明)

### 3 付 託 議 案 審 査 ( 説 明 ~ 質 疑、市 長 質 疑 項 目 の 抽 出 検 討 )

[まちづくり推進部入室]

- ・まちづくり推進部長あいさつ  
(基本方針等)

本日は、第1号議案の令和3年度一般会計予算、当部所管分並びに土地取得事業特別会計予算について、よろしく願います。

まず、一般会計に計上している当部に係る重点施策について、主なものは、第5次亀岡市総合計画の施策の大綱の8つの項目別に、今年度からの新規事業、また、充実させた事業を中心に説明する。

まず、地球にやさしい環境先進都市づくりの公園緑地に関しては、公園緑地整備事業費に老朽化が進む亀岡運動公園野球場等の改修を進める経費として約1億7,000万円を計上しているところである。

次に、快適な生活を支えるまちづくりの道路並びに河川では、まちづくりを支える道路網の整備や地域課題への対応、また、通学路対策などの道路整備を進めるために、道路新設改良事業費及び街路事業、合わせて約7億7,000万円、また、突発的な豪雨による被害を軽減するため、河川の浚渫や改修を行う河川の維持経費に約9,400万円を計上している。国土強靱化防災対応のための、時限的に制度化された優良

債等を活用することにより推進することとしているところである。

また、公共交通については、市民生活を支えるバス交通関連経費に新たに新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込むバスの利用促進等を目的にノーマイカーDay事業を試験的に行う経費も計上しているところである。

さらにJR千代川駅関連整備事業にJR千代川駅の東西自由通路の整備に向けて調査測量設計に係る経費を計上している。

さらに、都市計画、都市整備、住環境では、新たな総合計画に即した都市計画マスタープランの改定を行う経費を約600万円、また、JR亀岡駅も駅南周辺地区において、にぎわい創出につながる魅力あるまちづくりを進めるため、周辺の道路整備や公園のリニューアルを進める経費、城下町エリアの伝統的建造物群保存地区指定に向けた取組を進める経費など、合わせて約1億9,000万円を計上している。

4月からスタートする第5次亀岡市総合計画では、目指すべき都市像の実現に向けて計画的に取組を進めていきたいと考えている。主要施策については以上である。この後、詳細については担当課長より説明申し上げるので、賛同賜るよう、よろしくお願いする。

10:07

#### ・第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計予算（まちづくり推進部所管分）

[説明]

- ・担当課長順次説明（8款土木費4項都市計画費1目都市計画総務費まで）

10:31

[質疑]

<赤坂委員長>

ページごとに、質疑を行っていく。まずは、1ページで質疑はあるか。

<田中委員>

自転車等駐車場経費の並河駅前駐輪場用地賃借料はどこを借りているのか。

<土木管理課長>

JR並河駅近くのレオパレス亀岡の1階を借りている。

<奥野副委員長>

バス交通関連経費の市民ノーマイカーDay（仮称）実施業務委託料は、ふるさとバスと京阪京都交通バスも入るのか。

<まちづくり交通課長>

乗車と下車が亀岡である場合に限るが、市内に走っているバスを全て無料にしたいと考えている。

<木曾委員>

バス交通関連経費の交通空白地等地域生活交通事業補助金について、今後、東別院町だけではなく、他の交通空白地域に対して、デマンドタクシー等を模索しなければならないと考えるがどうか。

<まちづくり交通課長>

地域主体型交通の中の運転手まで協力いただければと考えている。東別院町についても、運転手不足のところもあり、京都タクシーに協力いただいていたがどうかと打診したが、今のところは、自分たちの地域で取り組んでいくということであった。今、市内でも、地域主体型交通を進めているところである。地域が求めているものを実

現することが大事であると考えてるので、デマンドタクシーの要望があれば今後取り組んでいきたいと考える。

<木曾委員>

現在は、地域で取り組んでおられるが、運転手が高齢化していて安全面で心配される。安全面と地域の要望、予算面を含めて検討しなければならないと考える。デマンドタクシーを取り入れる方向で進めていただきたいがどうか。

<まちづくり交通課長>

先日、公共交通対策特別委員会の正副委員長ともお話をさせていただいた。地域が求めることを実現するような方向でやっていこうとしているが、今後いろいろと議論しながら進めていきたいと考える。

<赤坂委員長>

次に、2ページ目で質疑はあるか。

<木曾委員>

土木管理事務経費について、市として、今後どのような方向でやっていくのか。

<まちづくり交通課長>

北陸新幹線については、国のほうでルートが決まったので、今後は見守っていくことになる。

<木曾委員>

国道9号ダブルルートはどこまで進んでいるのか。

<桂川・道路整備課長>

昨年度に勉強会を開催し、引き続き今年度も勉強会の開催を予定していたが、コロナのため開催できなかった。

<木曾委員>

亀岡市だけでは、どうすることもできない部分もあるが、早く進めていただきたい。

<藤本委員>

国道9号ダブルルートについて、亀岡市は要望していく立場であるので待っていても進まない。地元として、経済効果などしっかり議論した上で、積極的に促進していかなければ、10年経っても実現しない。要望しておく。また、高規格道路について、要望活動を行っているのか。

<桂川・道路整備課長>

大阪方面と京丹波方面を結ぶルートは、京都のみち2040の冊子にも幹線道路として位置づけられており、観光・物流・防災面にとっても必要とされているが、具体的に要望活動等は行っていない。

<まちづくり推進部長>

近畿市長会では、一定要望はいただいている。地元では、経済同友会で取り組まれているので、啓発看板も立てていただいている。3月議会の一般質問でも連携強化をとおっしゃっているので、改めて取り組んでいかなければと考える。

ダブルルートについても、京都市の財政状況も踏まえて、進めていかなければならないし、勉強会も口丹波2市1町と、京都府・京都市と行ったが、市町ごとに抱えている課題も異なるし、望むことも違う。各地域の課題解決につながり、どこが事業主体になり、どのルートを選ぶかなど早期に進めていく必要があると考える。市内の関係機関・団体の意見を集約し、市としてまとまった中で活動することが大事であると思う。

また、北陸新幹線についても、先ほど、課長からルートが決まったので消滅したという話があったが、現在は、京都丹波基幹交通整備協議会の中に含まれている。南

丹市で地下水の関係等で危惧されているが、2市1町の協議会で連携して国の動き等を注視していきたいと考えている。

<藤本委員>

亀岡市は、国道423号のバイパス化と高規格道路のどちらを優先に考えているのか。

<まちづくり推進部長>

まずは、現道の国道423号のバイパス整備であると考えます。

<小川委員>

道路橋梁事務経費の道路台帳補正作業委託料について、委託先と作業内容は。

<土木管理課長>

委託先は入札で決めていく。作業内容は、新たに認定した路線や道路拡幅した路線の修正作業である。

<赤坂委員長>

3ページで質疑はあるか。

<田中委員>

舗装改良事業費について、市道湯ノ花温泉線はここには上がっていないが、入らないのか。

<土木管理課長>

南つつじヶ丘1号線の予算の中に、市道湯ノ花温泉線の舗装改良のための予算も含まれる。

<田中委員>

市道湯ノ花温泉線は何メートル計画しているのか。

<土木管理課長>

国道372号の交差点から青空団地に入る辺りまでである。

<田中委員>

路盤がひび割れしているところがあるので、しっかりと舗装改良してもらいたい。

<木曾委員>

道路新設改良事業費のクニッテルフェルド通（頼政塚交差点）道路改良事業について、設計の段階なのか、用地取得なのか、工事に入るのかどうか。

<桂川・道路整備課長>

今年度は設計業務を進めており、来年度は大阪ガス等の用地買収費用と工作物の補償費用を計上している。工事は令和4年度を予定している。

<木曾委員>

この左折だまりは、スタジアムができるときに、通行をスムーズにするために進められていたが、まだできていない。サンガの試合時には、渋滞が発生しているので、早く進めていただきたいがどうか。

<桂川・道路整備課長>

早く進めたいと考えており、可能であるのなら、来年度に工事を開始したいと思う。

<木曾委員>

通学路対策として、柏原森線道路改良事業柏原工区と広田工区があるが、子どもたちはすでに通学している。安全対策のためにも、できるだけ早くしていただきたい。

<桂川・道路整備課長>

用地交渉等もあるが、できるだけ早く仕上げたいと思う。

<藤本委員>

クニッテルフェルド通（頼政塚交差点）道路改良事業の大阪ガスの土地は、一部買収になるのか、すでに大阪ガスは移転されているのか。

<桂川・道路整備課長>

大阪ガスの敷地は一部用地買収をさせていただく。用地交渉やガス管の占用物件等の協議を現在進めている。

<赤坂委員長>

道路新設改良事業費について、工事区間などの詳細な一覧表を提出いただきたいが出せるか。

<桂川・道路整備課長>

提出する。

<菱田委員>

提出資料について補足して、1年目で調査・設計、2年目で買収など、計画があれば出していただきたい。

<赤坂委員長>

計画も含めて出していただきたい。要望しておく。

次に、4ページで、質疑はあるか。

私からさせていただくが、河川維持経費の普通河川愛宕谷川雑木伐採作業委託について、昔ハイキングコースになっていたところの道がめくれ上がって大変なことになっているが、この予算で全部できるのか。

<土木管理課長>

ここについては、延長もかなり長くなっているので、3カ年で継続して作業をしていこうと考えている。

<赤坂委員長>

かなり危険な状態であるので、予算もかかると思うがどうか。

<土木管理課長>

今回は、川だけの工事になる。あそこは市道ではないので、川に倒木が落ちて、通水断面を阻害している木を撤去していく工事である。

<赤坂委員長>

上から撤去するために、道を作らなければ行けないと思うがどうか。

<土木管理課長>

仮設道路を作るので、それをそのまま残しておくことも一つの手であると考える。

<赤坂委員長>

5ページで質疑はあるか。

<藤本委員>

南郷池の浚渫については、台風がきたらすぐに埋まってしまうが、もっと深く掘らないと意味がないがどうか。

<桂川・道路整備課長>

南郷池の浚渫は京都府で実施いただいているので、京都府と協議していきたいと思う。

<藤本委員>

上桂川治水対策経費について、「桂川本川及び支川の河川改修事業の促進」とあるが、文化資料館近くのコンビニ跡地利用について、動くのが遅いと思う。もっと促進していこうと思ったら、積極的に進めていかなければならない。要望しておく。

<赤坂委員長>

6ページで質疑はあるか。

<田中委員>

景観形成事業経費に、「一定規模を超える建築物や工作物に対し審査事務を行う」とあるが、具体的な説明をお願いします。

<都市計画課長>

景観計画の中で景観形成地区を定めており、基準があり、例えば高さが13メートル以下で、建築面積が100平方メートルを超えるものに対して、一定基準を設けて、申請してもらい、審査している。一般地区では、農村地帯を含めて、高さ13メートルを超えるものまたは、建築面積が1,000平方メートルを超えるものに対して、申請してもらい、審査している。また、湯の花温泉も地区指定をしているので、建築面積が200平方メートルを超えるもの、自然景観形成地区は建築面積が200平方メートルを超えるものに対して審査している。

<田中委員>

今後申請が出てくるものに対しての審査ということか。

<都市計画課長>

そのとおりである。

<藤本委員>

景観形成事業経費の城下町エリアの伝建地区指定に向けた支援事業について、具体的にどのような支援なのか。

<都市計画課長>

昨年度、城下町地区住民を対象にワークショップをさせていただいた中で、街並みを保全・形成していくために、重要伝統的建造物群保存地区を位置づけていってはどうかという方向性が出できた。そのため、今回は伝建地区指定に向けての勉強会を開催して、住民の皆さんの意見を集約していこうと考えている。

<木曾委員>

兵庫県丹波篠山市では、すでに電柱の地中化等をして、歴史的な建造物を保存している。指定いただければ、2分の1の補助が国から出ると聞いているので、積極的に指定に向けて進めるために、視察等に行ってもらいたい。

<都市計画課長>

城下町地区の住民は、すでに丹波篠山市へ視察に行っておられ、勉強もされているので、今後もしっかりと進めていきたい。

<赤坂委員長>

次に、7ページで質疑はあるか。

<田中委員>

京都スタジアム関連事業経費のスタジアムを核としたまちづくり補助金の内訳は。

<まちづくり交通課長>

かめきたサンガ広場で行われるe c oマルシェ等に係る経費であり、内訳はイベントの際の設営のための準備やリユース食器を使うエコステーション、場所の借上賃、ステージの演出謝礼、コーディネーター代等である。1回当たり、約20万円である。

<木曾委員>

関連して、JR亀岡駅北には無料の駐車場がないのが問題である。1時間や2時間までは無料でできないのか。

<まちづくり交通課長>

マルシェはサンガの試合時に開催しているが、その目的は亀岡の農産物を消費してもらうことであり、基本は公共交通機関で来てもらうようお願いしているが、保

津川水辺公園の無料駐車場もあっせんしている。

<木曾委員>

スタジアムを核としたまちづくりと言うならば、考えてもらいたい。

<まちづくり交通課長>

京都府と一緒に考えていかなければならないと思うが、マルシェについては、亀岡市を盛り上げていこうとするものであることはご理解いただきたい。

<赤坂委員長>

キッチンカーも導入していくので、サッカー以外にも、いろいろなイベントがこれから開催されていくと思うので、駐車場の問題は大切であると考えている。要望しておく。

<菱田委員>

関連して、キッチンカーについて、補助を締め切ったので、「来年から申請してくれ」というのではなく、もう少し、臨機応変に対応するように亀岡コンベンションビューローに伝えてほしい。

<木曾委員>

J R 亀岡駅自由通路等施設管理経費の業務委託について、割高であると感じるが、指名競争入札等により、価格を下げることはできないのか。

<まちづくり交通課長>

1日2万人、年間700万人の方が利用される駅であり、市内では一番多く利用される施設である。遠隔操作での対応など、安全上金額的に高くなっている。令和元年度から5年度まで、長期継続契約であるので、今後の見直しの際には安価にできるようにしていきたいと思う。

11:23

・第1号議案 令和3年年度亀岡市一般会計予算（まちづくり推進部所管分）

[説明]

- ・担当課長順次説明（8款土木費4項都市計画費2目土地区画整理費から、歳入まで）

11:50

<休憩 11:50～13:00>

[質疑]

<赤坂委員長>

8ページで質疑はあるか。

<木曾委員>

土地区画整理事業を組合施工でやる事業があるが、最初の段階でルールをしっかり把握しなければ、後々市の責任が出てくるので、市の立場をしっかりと明確にしておかなければならない。あくまでも、組合施工の場合は、組合員が全てのことを包括して最終的に整理することが基本である。しっかりと押さえていただきたい。全て任せられると一番困ることになると思うがどうか。

<都市整備課区画整理担当課長>

従前は市が事務局として入っていたが、現在は業務代行方式として、市は事務局として入っていない。補助金の関係があるのでつなぎはしているが、ある一定の線引きはできていると考える。

<木曾委員>

しっかりと、当初に押さえておかなければならないと考えるので徹底してやってもらいたい。

<都市整備課区画整理担当課長>

しっかり取り組んでいく。

<赤坂委員長>

9 ページで質疑はあるか。

<藤本委員>

公園緑地管理経費について、「亀岡運動公園陸上競技場の外周道路に苔が生えていてすべる」という声があるが、定期的に掃除しているのか。

<都市整備課長>

昨年4月から指定管理者が変わり、「前の指定管理者より除草等の丁寧さがないのではないか」という意見をいただいたので、現地を確認し、指定管理者と連携していく中で、最近では、丁寧に除草等をするようにしている。今後も連携しながらやっていく。

<藤本委員>

かめきたサンガ広場にあるトイレが汚かったが、どこが管理しているのか。

<都市整備課長>

J R西日本メンテナンスに委託しており、毎日1回点検してもらっている。令和3年度も入札により委託していく。

<藤本委員>

委託料を支払って任せているだけなのか。

<都市整備課長>

トイレの委託については、145万円を予算として上げている。職員が広場に行くことも多々あるので、その都度トイレも点検している。特に、夏場は噴水に多くの人が訪れていることもあり、頻繁にトイレの点検もしているので、今後も委託事業所と連携して点検を行っていく。

<木曾委員>

街路事業費の馬堀停車場線篠線（第2工区）道路改築事業について、最近市道北古世西川線の交通量が増えている。サンガの試合時には混雑しているので、早く完成させていただきたいが、今後の計画の見通しは。

<桂川・道路整備課長>

今まで交付金の内示率が低く、事業進捗が図れていない部分もあったが、今回の国の第3次補正もあり、新年度予算もかなり要求させていただいている。できるだけ早急に進めていきたいと考えており、まずは人家の用地交渉を優先して進めている。広道の交差点付近の人家は残り2軒程度で完了する。事業期間としては、令和6年度までとしており、それまでには開通できるように進めていきたいと思う。

<木曾委員>

かめきたサンガ広場に関連して、無料の駐車場がないので、何とか対策は取れないのか。

<まちづくり推進部長>

すでに民間の駐車場があるので、そこをイベントの際には主催者が賃借料を払って借りるということもあるかもしれないし、また、保津川水辺公園は無料であるので、そこを利用してもらうことも啓発していかなければならないと考える。今後、京都府や関係機関等と協議していきたいと思う。

<菱田委員>

街路事業費の（都）保津新国道線街路交通調査について、今後の予定は。

<桂川・道路整備課長>

調査を3カ年かけてやっていき、京都府や地元と工事の役割分担等について協議していく。京都府では現在、並河亀岡停車場線を進められており、2つ同時に実施するのは難しいため、そちらが終われば、切れ目なく事業を進めていくとのことである。都市計画道路並河亀岡停車場線の事業認可期間が令和7年度となっているため、それまでに、亀岡市では、地元と一緒に用地買収するのか、区画整理として進めるのか等勉強会をしながらコンサルタントに委託して進めていく。

<菱田委員>

ぜひ地元の方に本気でやっていくというところを見せていただきたい。

<赤坂委員長>

公園緑地管理経費の都市公園33か所の指定管理業務委託料が毎年上っていくのはなぜなのか。

<都市整備課長>

ここには、遊具やベンチなどの施設の修繕費が入っている。50万円以下の修繕については指定管理者で実施いただくことになるが、施設自体が老朽化しており、修繕が追い付かない状態となっており、金額的に増えている。

<赤坂委員長>

10ページで質疑はあるか。

<木曾委員>

公園緑地整備事業費の東つつじヶ丘公園防球ネット整備工事について、なぜ最初から設置していなかったのか。近所からの苦情があって実施するのか。

<都市整備課長>

当初は周りに樹木を植えて、ボールの飛び出しを防いでいたが、樹木だけでは防げず、特に、西側について、ボールが出るようなことがあった。令和元年度に、樹木を植え替えたが効果が少なかったため、周辺住民や自治会から要望をいただき、今回防球ネットの整備工事を実施しようとしている。

<小川委員>

公園緑地整備事業費の京都・亀岡保津川公園設計業務について、駐車場は考えているのか。

<都市整備課長>

平成31年3月に事業認可の変更をさせていただき、13.9ヘクタールのうち、南側の曾我谷川に隣接している湿地帯として、400ヘクタールぐらいの設計をする。その上にアユモドキの生息に必要な水田500ヘクタールを残し、その上に原っぱ広場を設けるが、そこに駐車場等を検討している。

<赤坂委員長>

11ページで質疑はあるか。

<藤本委員>

緑花推進経費の亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想事業について、突然に、篠インターのところのハナミズキがメタセコイアに変わっていたり、亀岡インターのところの植栽がされていたり、もう少し計画的に事前説明はできないのか。

<都市整備課長>

市外からの来訪者が来られるところを中心に整備している。既存の部分も生かしながら新たな接点を整備し、亀岡全体を線で結んでいくような形で、楽しんでもらえ

るように取り組んでいる。その時々で、場所を確保できたところで実施しているので、計画的に何年度にどこをやるということではやっていない。目指す目標を定めているものであるので、年度ごとに予算を計上させていただいている。来年度は亀岡インターを降りて、国道372号を北側に100メートルほど行っていただいた田んぼの低いところがあるが、両側にメタセコイアの木を植林する予定である。

<木曾委員>

亀岡には緑がいっぱいあるので、予算をかける必要はないと考えるし、また、メタセコイアは管理が大変であると考えているが、なぜメタセコイアなのか。

<都市整備課長>

しっかりと管理していく。

<赤坂委員長>

伸びれば大変なので、電線のないところに植えてほしいがどうか。

<まちづくり推進部長>

場所はしっかり考えていく。亀岡は自然が多いのでこのままでというのはまさにそのとおりだと考える。地域の自然や歴史文化を保存するのは当然であるので、それらを残しつつなげていくことが大切である。七谷川ではさくらの植樹を行った。それぞれの地域の魅力をいろいろな手法で高めていき、つなげていくというようなイメージをしていただきたい。ウェルカムガーデンは亀岡全体の入り口として整備させていただいた。

<木曾委員>

篠町の洗川辺りも開発が進むが、地元の人と協議して、つつじを植えるなりいろいろな意見を聞いてもらいたい。

<まちづくり推進部長>

今後進めるにあたり、地域の声を十分聞いて進めていきたい。

<藤本委員>

南つつじヶ丘の街路樹が電線にからまっている。何メートル以上になったら、木を切るなり規制をするなりしていただきたい。

<赤坂委員長>

次に、12ページで質疑はあるか。

<木曾委員>

空家等対策事業経費の空家等代執行・緊急安全措置委託実施経費について、この予算で何軒分になるのか。

<建築住宅課長>

今まで実際にこの予算を使ったことはない。基本は、所有者の自主的な対応を促しており、よっぽどのがない限りこの予算で対応していないし、幸い今まで使用したことはない。

<木曾委員>

自治会から今まで一切要望はなかったのか。

<建築住宅課長>

空き家の調査依頼はあるが、所有者を特定していく中で対応している。

<赤坂委員長>

木造住宅耐震シェルター設置補助金のシェルターについて、詳細な説明をお願いする。

<建築住宅課長>

木造家屋の1階部分の1部屋に頑丈な囲いを作り、地震の際にその部屋に避難する

というものである。高齢者は避難所まで行けないので、自宅にシェルターを造る方がおられる。

<赤坂委員長>

誰でも造れるのか。

<建築住宅課長>

耐震基準が変わった昭和56年以前の木造住宅である必要がある。昭和56年以降の建物は耐震基準を一定満たしていることになるので対象外である。

<赤坂委員長>

困いとはどのようなものなのか。また、どのくらい補助金が出るのか。

<建築住宅課長>

補助金としては、30万円である。いろいろなメーカーがシェルターを販売しており高額になっている。

<田中委員>

令和8年度末までに、耐震化率を95%までに引き上げることを目標にしているが、目標値までに、あと何戸ぐらいしなければならないのか。

<建築住宅課長>

95%の根拠は、統計調査等の推計数字をベースとしているので、具体的に現存する家屋を何軒耐震化すればよいのかの数字はつかんでいない。

<田中委員>

95%はいい加減な数字なのか。

<建築住宅課長>

ベースとなる数字は調査の中の推計値となるのでご理解いただきたい。

<田中委員>

希望値と言っていたらよい。

住宅建設事業費の市営車垣内住宅除却工事について、今何軒入っているのか。

<建築住宅課長>

9軒おられて、4軒は町畑に移っていただいた。残り、5軒のうち、1軒は京都市内に移られて、1軒は施設に入られた。令和3年度で移転いただくのは、残りの3軒である。

<田中委員>

残りの3軒が町畑に移転すれば、入居率はどのくらいになるのか。

<建築住宅課長>

現在、30軒のうち12軒住んでおられて、車垣内の方が移っていただければ、19軒になり、63%の入居率になる。

<田中委員>

かなりの空き家があるので、これらをどうするのかを根本的に考えていただきたい。空き家のまま置いておいても管理費がかかるだけである。外壁なども直していただいたところであるのでしっかり考えてほしい。

引っ越し代等は実費なのか。

<建築住宅課長>

助成金は1軒当たり10万円の上限である。

13 : 45

[市長質疑項目の抽出検討]

<赤坂委員長>

これから市長質疑項目の抽出検討を行う。市長質疑項目として抽出すべき項目があれば、その項目が掲載されている資料とページ数及び論点を明確にして発言願う。

<木曾委員>

9ページ、公園緑地管理経費のかめきたサンガ広場について、要望が多いので、無料の駐車場を作っていただくように考えてもらいたい。市営の駐車場設置はないのかどうか聞きたい。

<藤本委員>

6ページ、景観形成事業経費の城下町エリアの伝建地区指定に向けた支援業務について、せっかく大河ドラマ館ができて、サンガの試合があっても、すぐに帰ってしまう。伝建地区指定が取れていたら、環境が変わってくるし、これからの駅南の発展を考えたときに、もっと亀岡の玄関口の景観を統一的なものにしていくなど、駅南に人が移動するように、もっと力を入れるべきである。

<木曾委員>

伝建地区指定について、丹波篠山市や滋賀県長浜市、三重県松阪市などに、視察に行って、手法などを参考にしてもらいたい。

<田中委員>

景観形成していく上で街並みを保存していくことは非常に大事なことであるが、そのために行政がどのぐらいの支援ができるかが重要になる。財政的な支援をどのように考えるのか聞きたい。

<菱田委員>

関連して、9ページ、(都)保津新国道線街路交通調査について、まさに、これは伝建地区のど真ん中にくる可能性が高い。どのような補助を出していくのか等、総合的にJR亀岡駅南を考えるとと思うのでそのようなところも含めて、市長質疑を考えてもらいたい。

<赤坂委員長>

追加で、理事者から説明はあるか。

<まちづくり推進部長>

城下町の取組について、伝建地区の指定をすると、周辺住民の方に不自由を敷いてしまうことがあるので、丁寧に説明し、意識の醸成をしていきたいと思う。来年は入り口の取組を丁寧にやっていきたいと考える。地域の方のご理解と合意形成がいる。

<赤坂委員長>

地域の中では揉めており、理解を得るのは難しい。リーダー的な存在が必要であると考えてるので、しっかり組織を作って進めてもらいたいと思うがどうか。

<まちづくり推進部長>

旧町には多くの町があるので、各自治会長や山鉾保存会などと相談し、核になっていただく方を選んで、その方を対象に勉強会を進めていこうとしている。

<都市計画課長>

木曾委員が言われた先進視察については、小浜市に行く予算を入れている。

<赤坂委員長>

市長質疑については、そういった部分を加味して、委員会で提起させていただく。

・第6号議案 令和3年度亀岡市土地取得事業特別会計予算

[説明]

- ・まちづくり交通課長説明（歳出・歳入一括）

13 : 59

[質疑なし]

[市長質疑項目抽出なし]

13 : 59

<休憩 13 : 59～14 : 30>

[上下水道部入室]

- ・上下水道部長あいさつ  
(基本方針等)

上下水道部が所管する第8号議案、令和3年度水道事業会計予算、第9号議案、令和3年度下水道事業会計予算の当初予算案について説明させていただく。

最初に、上下水道事業会計の予算編成方針及び部の取組の一部についてであるが、水道事業、下水道事業については、水需要の減少により、料金収入が伸び悩む一方で、施設の更新需要が増加するなど、厳しい経営環境にある。しかしながら、市民生活を支える重要なライフラインとして、特にコロナ禍においては手洗い等の予防手段として大変重要な水道水であって、安定して供給する使命があると思っている。そして、持続的に安定したサービスを市民に提供するため、適切な施設の整備や維持管理に取り組むとともに、より一層の経営の健全化、効率化を図る予算編成を行ったところである。

水道事業については、水道安定供給をするための老朽管の更新に合わせて耐震化工事や、第5次拡張事業、王子配水池の築造工事、上下水道部庁舎の耐震化対策と災害時でも安心できる上下水道部機能の確保の課題解決をさらに移転先の旧京都地方法務局の改築工事、南丹市への用水供給開始による用水供給収益などの予算を計上している。

次に、下水道事業については、下水道施設全体の機能確保とライフサイクルコストの低減を目指した下水道トップマネジメント契約による改築更新事業、農業集落排水施設の公共下水道事業、施設統合へ向けた計画変更業務などを提供するところである。水道事業、下水道事業をまとめて策定している亀岡市上下水道ビジョンを今月末に完成を目指している。

今後は、そのビジョンに基づいて上下水道施設の施設更新や、半国、宮前、本梅の西部3地区の農業集落排水施設の公共下水道への施設統合費用等、計画的な設備投資と財源の見通しによって、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいくこととしている。

それでは、令和3年度予算の詳細について、各課長から説明させていただくので、審議いただいで承認賜るよう、よろしく願います。

14 : 33

・第8号議案 令和3年度亀岡市水道事業会計予算

[説明]

- ・各課長説明（歳出・歳入一括）

15:07

[質疑]

<木曾委員>

41ページ、他会計貸付金返還金はあとどのくらい残っているのか。

<総務・経営課長>

あと令和3年度と令和4年度の2カ年であり、令和3年度の償還を終えると、元金ベースで残り3,081万4,000円である。

15:08

・第9号議案 令和3年度亀岡市下水道事業会計予算

[説明]

- ・各課長説明（歳出・歳入一括）

15:35

[質疑]

<菱田委員>

企業債が160億円ほどあり、利息3億2,700万円ほどの支出が見込まれているが、今どのくらいの利率で借入れをしているのか。また、どういった方面でしているのか。

<総務・経営課長>

主には、財政融資資金であり、令和3年3月以降の借入れ申込みの予定利率は、建設改良に係る資金については、40年の償還で固定金利0.6%である。利息を償還するための借入れは、資本費平準化債として、20年償還で0.2%である。

<赤坂委員長>

17ページ、亀岡市年谷浄化センター汚泥運搬・処分業務委託等経費の詳細な説明をお願いします。

<下水道課長>

運搬については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、京都府や京都市の産業廃棄物の運搬許可が必要な事業者へ委託している。そのほか、京都環境保全公社やクリーンアース・ジャパン等に運搬委託している。京都環境保全公社で1トン当たり5,720円、クリーンアース・ジャパンで1トン当たり10,230円で委託等を行っている。

<赤坂委員長>

2事業所に委託しているのか。

<下水道課長>

そのとおりである。

<赤坂委員長>

廃棄物によって、値段が違うのか。

<下水道課長>

汚泥と紙や髪の毛などと分けられている。

<田中委員>

31ページ、消化ガス売却収益が上がっているが、二酸化炭素は出ないのか。

<上下水道部長>

発電機からは出るが、関西電力の火力発電等が減るので、二酸化炭素の削減効果はあると考える。

<田中委員>

部長の最初のあいさつで、「農業集落排水を下水道につないでいきたい」とおっしゃったが、具体的な計画はあるのか。

<下水道課長>

統合計画は、来年度は下水道事業全体計画の変更の中に位置付けている。半国・宮前・本梅の3つの浄化センターについて、令和9年度に公共下水道に接続していきたいと計画している。

<田中委員>

管路はどちらに向けてつないでいくのか。

<上下水道部長>

今後、費用対効果や全体計画を変更する中で試算するが、今想定しているのが、各処理場からポンプアップし、湯の花温泉の方にめがけて管路の受け入れの余裕があるところまで、突っ込む予定をしている。

<菱田委員>

農業集落排水の関係で、本梅では汚泥を肥料にしているが売れているのか。

<下水道課長>

無償で地元に戻元している。

15 : 44

[市長質疑項目抽出なし]

[上下水道部退室]

15 : 44

[市長質疑項目の論点整理について事務局主任説明]

<赤坂委員長>

商工業振興対策経費のサンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業と観光推進経費の川の駅亀岡水辺公園整備運営経費及び桂川舟運歴史体験・展示施設河川アクティビティ等試行業務委託料については、まったく分からなかったので残しておきたいと思う。

森林活用推進事業経費については、京都府が動かなければ分からない部分もあるので外させていただきたい。

<菱田委員>

景観形成事業経費の伝建地区指定については、理事者もその場で話を聞いており、思いを共有できているので、削除してもよいと思う。ただ、森林活用推進事業経費の話は、京都府が動いてくれなければ進まないと考える。業務委託料を亀岡市が幾らつけても効果が得られないと考えるので、京都府に動いてもらうために亀岡市はどうしていくのかを聞きたい。

<赤坂委員長>

それでは、商工業振興対策経費、観光推進経費、公園緑地管理経費の3つを市長質

疑項目として上げることとする。文言は正副委員長に一任願う。

(了)

<赤坂委員長>

今回は、15日、月曜日、午前10時から分科会を再開し、市長質疑項目の確認を  
させていただく。

～散会 15:52